

国語Ⅱ (JapaneseⅡ)		2年・通年・3単位・必修 5学科共通 担当 武田 充啓
〔準学士課程(本科 1-5年) 学習教育目標〕 (3)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
<p>〔講義の目的〕 日本語の能力を総合的に高める。他者との相互理解や相互伝達を円滑なものにするために、理解力や表現力とそれらを支える思考力や感性を培う。また、言語文化への理解を深め、多様な価値観を知ることを通して、豊かな人間性を育む。</p>		
<p>〔講義の概要〕 高等学校第2学年に相当する国語の力を身につけるため、高等学校用の教科書を使用し、様々な文章を読み、多様な考えにふれる。自分が感じたり、考えたりしたことを口頭や文章によって表現する機会、クラスメイトの意見や考えにふれ、検討や議論を通して自分の考えを深める機会をもつ。週3時間のうち、2時間を現代文、1時間を古典（古文・漢文）の時間に当てる。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 予習プリントを用意するので、取り組む単元の下読み、知らない言葉の下調べは必ず行うこと。板書だけでなくプリントを使った授業も行い、プリントを提出させる。授業中はなるべく発問を多くするつもりなので、積極的な発言や質問ができるよう準備しておくこと。また、作文や創作の時間を有効に使えるように、日頃から問題意識を持って自分や自分の身の回りの世界に目を向けておくこと。2週間に1回、漢字テストを行う。</p>		
<p>〔到達目標〕 前期中間試験: 1) 基本的な漢字や語句についての知識を身につける、2) 論理的な文章を構成に注意して読むことができる、3) 小説を登場人物の心情の変化に注意して読むことができる、4) 古文を正確に音読できる。 前期末試験 : 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 論理的な文章を要約することができる、3) 小説を自分の生活や考えと照らし合わせて読むことができる、4) 漢文を正確に音読できる。 後期中間試験: 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 論理的な文章を事実と意見の違いに注意して読むことができる、3) 小説の主題を読み取ることができる、4) 古文の内容を現代語にまとめて表現できる。 学年末試験 : 1) 基本的な漢字や語句の知識を身につける、2) 簡単な意見文を書くことができる、3) 小説を読んだ感想を文章にすることができる、4) 漢文の内容を現代語にまとめて表現できる。</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験成績（60%）を基本とし、これに課題提出や発表など授業に取り組む姿勢（30%）や漢字テスト（10%）を加えて、総合的に評価を行う。</p>		
<p>〔教科書〕 「新 精選現代文1」明治書院、「新 精選古典」明治書院 〔補助教材・参考書〕 「新国語便覧」第一学習社、「高校漢字必携」第一学習社、補助教材配布プリント</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕 国語は全ての科目の基礎といえる。社会科関連の科目だけでなく、外国語の習得、専門科目ほかのレポート作成、また数学の論理的思考とも関連するので、よくよく留意して前向きに学習すること。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価
第1週	ガイドランス・国語について 「今昔物語集」	本科目の概要説明。自分が必要とする言語力をどのように身につけるか考える。 「玄象といふ琵琶、鬼のために…」を読み、古典の文体に親しむ。	
第2週	「心の鉦脈」 「今昔物語集」	評論を読み、全体の構成をとらえる。 「玄象といふ…」を読み、古典の基本的文法事項を復習する。	
第3週	「心の鉦脈」 「今昔物語集」	文章の展開に沿って評論を読み、論旨を的確にとらえる。 「玄象といふ…」を読み、内容を読みとる。	
第4週	「山月記」(中島敦) 「竹取物語」	作者である中島敦について知り、音声教材も活用しながら小説の文体を味わう。 1年次に学習した内容を復習し、「かぐや姫の昇天」のあらすじを理解する。	
第5週	「山月記」 「竹取物語」	小説を読み、主人公の人物像を理解する。 「かぐや姫の昇天」を読み、内容を理解する。	
第6週	「山月記」 「竹取物語」	表現に注意しながら小説を読み、登場人物の心情を的確にとらえる。 「かぐや姫の昇天」を読み、登場人物の心情を読みとる。	
第7週	「山月記」 「竹取物語」	課題プリントを完成させることで、小説全体の構成や主題を確かめる。 「かぐや姫の昇天」を読み、主題について考える。	
第8週	中間試験解説／「間が取れない」 中間試験解説／「故事・逸話」	評論を読み、全体の構成をとらえる。 「臥薪嘗胆」を読み、1年次に学習した基礎的事項を復習する。	
第9週	「間が取れない」 「故事・逸話」	語句や表現に注意して評論を読み、内容を理解する。 「臥薪嘗胆」を読み、書き下し文や重要句形の知識を身につける。	
第10週	「間が取れない」／「赤い椿」 「飲酒」	評論の主張を理解する。俳句教材「赤い椿」を読み、俳句について理解を深める。 「飲酒」を読み、主題について考える。	
第11週	「赤い椿」／俳句を作る 「登岳陽楼」	現代の俳句にもなるべく多くふれ、俳句を実作し、クラスで発表する。 「登岳陽楼」を読み、作者の心情について考える。	
第12週	選句する／夏休み課題説明 「鴻門の会」	クラスで発表された俳句を批評し、選句をする。 作者である司馬遷や当時の中国の時代状況について知る。	
第13週	「科学と世界観」 「鴻門の会」	評論を読み、構成や展開をとらえる。 「鴻門の会」を読み、登場人物たちが置かれた状況を読みとる。	
第14週	「科学と世界観」 「鴻門の会」	語句や表現に注意して評論を読み、内容を理解する。 表現に注意して「鴻門の会」を読み、人物の動きと心理を的確にとらえる。	
第15週	「科学と世界観」 「鴻門の会」	要点にまとめることで、筆者の主張を理解する。 「鴻門の会」の内容を理解し、人間や歴史について考える一助とする。	
前期期末試験			
第16週	試験解説／「城の崎にて」 試験解説／「方丈記」	作者である志賀直哉について知り、文体を味わう。 「方丈記」について、文学史の知識を身につける。	
第17週	「城の崎にて」(志賀直哉) 「方丈記」	小説を読み、主人公の「語り」に注意して内容を理解する。 「ゆく河の流れ」を読み、主題を把握する。	
第18週	「城の崎にて」 「方丈記」	表現に注意しながら小説を読み、登場人物の心情を読みとる。 「ゆく河の流れ」を読み、作者の心情を読みとる。	
第19週	「城の崎にて」 「方丈記」	作文を通じて、小説の主題について考える。 「ゆく河の流れ」を読み、作品の主題を理解する。	
第20週	『『である』ことと『する』こと』 「雨月物語」	評論を読み、全体の構成をとらえる。 「雨月物語」について、文学史の知識を身につける。	
第21週	『『である』ことと『する』こと』 「雨月物語」	評論を読み、論の展開方法を理解する。 音声教材も活用して「雨月物語」を読み、全体のあらすじを理解する。	
第22週	『『である』ことと『する』こと』 「雨月物語」	語句や表現に注意して評論を読み、内容を的確に読みとる。 語句や表現に注意して「雨月物語」を読み、内容を理解する。	
第23週	『『である』ことと『する』こと』 「雨月物語」	要約の文章を作ることで、筆者の主張を理解する。 「雨月物語」を読み、主題について考える。	
第24週	中間試験解説／「こころ」 中間試験解説／「夢為蝴蝶」	作者である夏目漱石について知り、小説「こころ」の全体構成について理解する。 寓話「夢為蝴蝶」を読み、内容を理解する。	
第25週	「こころ」 「夢為蝴蝶」	表現に注意しながら教材「こころ」を読み、登場人物の心情を的確にとらえる。 「夢為蝴蝶」の主題を理解する。「桃花源記」を読み、あらすじを理解する。	
第26週	「こころ」 「桃花源記」	登場人物たちの生き方と自分自身の生き方とを対比しながら、小説教材を読む。 伝奇小説「桃花源記」を読み、あらすじを理解する。	
第27週	「こころ」 「桃花源記」	教材「こころ」(小説全体の後半の一部分)を主体的に読解・鑑賞する。 表現に注意して「桃花源記」を読み、内容を的確に把握する。	
第28週	「こころ」 「桃花源記」	小説全体の構成を再確認し、課題プリントを完成させながら主題について考える。 「桃花源記」を読み、主題について理解する。	
第29週	「世界史の臨界」 思想	評論を読み、構成や展開をとらえる。 「老子」を読み、古代中国の思想にふれる。	
第30週	「世界史の臨界」 思想	筆者の主張を理解し、それに対する自分の考えをまとめる。 「荘子」を読み、古代中国の思想にふれる。	
学年末試験			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。